

2025 年 3 月 2 日

サンゴ礁ウィーク 2025「サンゴ礁研究最前線！」実施報告書

(一社) 日本サンゴ礁学会 教育・普及啓発委員会

水山 克

『サンゴ礁ウィーク 2025 への出展に関する報告書』

標題の件につきまして、無事に完了したことを、下記の通りご報告します。

記

1. 企画名：「サンゴ礁研究最前線！」
2. 日 時：2025 年 3 月 1 日（土）13:00～18:00
3. 場 所：沖縄県立博物館・美術館（沖縄県那覇市おもろまち 3 丁目 1 番 1 号）
県民アトリエ
4. 主催者：一般社団法人日本サンゴ礁学会 教育・普及啓発委員会
5. 概 要：

沖縄県サンゴ礁保全推進協議会が主催する「サンゴ礁ウィーク 2025」に参加する形で、日本サンゴ礁学会に所属する研究者と琉球大学でサンゴ礁を学ぶ大学院生が、サンゴ礁およびサンゴ礁に生息する生き物等の企画展示を行った。実施は大学院生 1 名、ポスドク研究員 1 名、教員 1 名の計 3 名で行い、36 名（14 組）の方々にご来場頂き、サンゴ礁保全を取り上げる地元新聞社（琉球新報）に取材して頂いた。

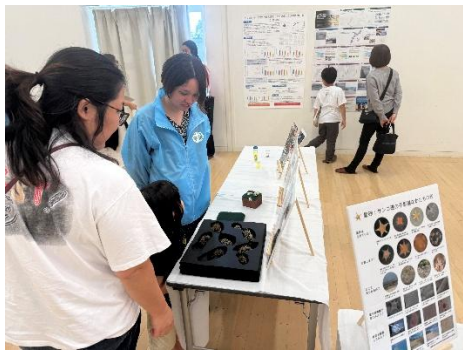
展示内容は、①沖縄のサンゴ礁の成り立ち、②サンゴ礁を造る生き物（サンゴと有孔虫）、③サンゴ礁に暮らす生き物（ウニ、ブダイ、ヒラムシ）、④サンゴ礁研究者らによるポスター発表で、様々な視点からサンゴ礁生態系について学んでもらえるよう工夫を凝らした。

これまでに実施した同様の企画展示と比べ、今年は準備期間がとれなかったことから、サンゴや潮間帯の生物等の生体展示を行わなかった。開催日は 1 日間午後のみで、来場者数はこれまでの最小数となったが、同室内で同じくサンゴ礁ウィークに参加する別団体（NPO 法人 海の自然史研究所）が子ども向けの体験型イベントを開催していたこともあり、来場者の平均滞在時間は最も長かった（1 組につき 0～4 時間）。

初実施となったポスドク研究員からは、「他学会での年次大会期間中に企画展示を行ったことがあるが、子どもと接する機会はなかったので新鮮な経験となった」というコメントが寄せられた。

本事業は、アラムコ・アジア・ジャパン株式会社の寄附による、「サウジアラムコ沖縄サンゴ礁保全活動支援基金助成事業」の支援を一部受けて実施した。

6. 実施の様子

	
会場の様子	サンゴ礁に暮らす生き物の展示

7. 実施者一覧（氏名、所属）

水山克、名桜大学人間健康学部・准教授

露木葵唯、琉球大学・日本学術振興会特別研究員 PD

鈴木陽樹、琉球大学大学院理工学研究科・博士後期課程 1 年

以上